

今日は5月30日。新年度がスタートして2ヶ月が過ぎ、一学期も半ばを過ぎようとしています。

この間の学校の様子や生徒達の活動は、HPのブログで随時配信していますが、そこでお伝えできていない先生達の取組を、二つ御紹介します。



4月20日(木)・21日(金)。昨年度から取り組んでいる「つしょうレインボー・プロジェクト」の一環として、国立教育政策研究所の長田徹先生を招いて、教員対象の研修会と生徒向け講演会を実施しました。(生徒向け講演会は次号で御紹介することとします。)

「津山商業高校の研究におけるキャリア教育の視点」というテーマのもと、“新学習指導要領では、学校行事・HR活動・生徒会活動などの特別活動を要としたキャリア教育の推進が打ち出されており、『特別活動を核として』本校の全ての教育活動において、『津商モールで生徒達に発現させたい7つの資質・能力の育成』を目標に掲げて実践する」という津山商業の取組は、新しい教育の方向性の先取りと言える”こんなレインボー・プロジェクトの意義についての分かりやすい実例を用いた説明とともに、資質・能力の育成・評価についての具体的な方法紹介やその際の留意点の指摘もあり、同プロジェクト2年目を、教師が意欲と自信を持って指導するための「理論と実践」を提供していただきました。

私が県外出張中の5月23日(火)、岡山大学教師教育開発センターの高旗浩志先生を講師とする教員研修会が実施されました。

「『新しい自分に出会える学校』を創るために―『主体的・対話的で深い学び』の実現のために必要なこと」と題されたワークショップ型の研修で、先生達は大きな示唆を得たようです。参加者の「リフレクション(振り返り)・シート」の記述の一部を紹介します。



・今回の研修で、普段の授業の反省点に多く気付かされました。どうしても習得型授業に重きを置いてしまいがちでした。何とか生徒に分かってもらおうと、ひとつひとつ丁寧に教えているつもりでした。しかしこちらは「教えたはず」なのに、「なんでわからないのか」と感じる場面が多々ありました。静かに授業を受けていたら理解できているのではなく、ただ「学んだふり」になっているだけなのだと気付かされました。

・大変分かりやすいお話でした。自分の授業を振り返りながらお話を聞くことができ、今後の授業改善に生かせると思います。聞きっぱなしでなく短時間でリフレクションすることで考えの整理もできました。

・真の意味での協同学習のあり方をしっかり学べたと思います。「なぜ話し合いをするのか」など、本質的意味を再認識できました。

・今日のお話を聞き、自分の中にあったぼやとした理想に輪郭が出来たような気がします。その中に肉をつけていけるよう、日々努力を重ね勉強していきたいです。

- ・昨年ALの知識構成型ジグソー法で公開授業をしました。…今年のこれからの授業では、より計画的に、生徒が楽しみにしてくれる授業を目指したいと思います。
- ・「校長や指導教諭が指示を出すから」ではなく、自分自身のため、生徒のためにより授業が実施できるようになりたいと思っています。教師として「終末」が近づいている私は、「最期」に本当にプロとしての授業ができるようになりたいです。また少しでも、これからの時代を担う若手の先生達の力になりたいと思っています。

高旗先生のお話を直接窺えなかったのが、本当に残念。けれど御用意くださったレジュメや資料、教頭から聞いた研修会の様子、「リフレクション・シート」の記述から、先生達にとって楽しくて有意義な時間だったことが伝わってきました。

外部講師を招いての二つの教員研修。その成果が日々の授業や特別活動などにどのように反映されるかが楽しみです。(長田先生の生徒向け講演会や5月の様々な行事や取組については、次号で御紹介します。)

平成29年5月30日